



令和5年9月15日(金)発行

校長 栗原 友恵

北九州市小倉北区昭和町16番1号

HP: [www.kita9.ed.jp/nakashima-e/](http://www.kita9.ed.jp/nakashima-e/)

TEL: (093) 921-1690

<学校教育目標>

体・徳・知 調和のとれた心身ともに健康な子どもの育成

<目指す子ども像>

○相手の立場に立って考える思いやりのある子ども

○すすんで学び、自ら考え、表現する子ども

○元気に学び、すすんで運動に取り組む子ども

<目指す学校像>

○安全な学校 ○温かい学校

○笑顔があふれる学校

○「中島小大好き」と言える学校

○成長(学習)し続ける学校

○保護者・地域・関係機関と連携する学校

## 「みなさんにとって『平和』とは何ですか」 平和への誓い(全文)

夏休みは、『平和』について考える機会がたくさんありました。被爆78年となる広島「原爆の日」の平和記念式典で、広島市の小学生が「平和への誓い」を読み上げました。以下全文です。

みなさんにとって「平和」とは何ですか。

争いや戦争がないこと。

差別をせず、違いを認め合うこと。

悪口を言ったり、けんかをしたりせず、みんなが笑顔になれること。

身近なところにも、たくさんの平和があります。

昭和20年(1945年)8月6日 午前8時15分。

耳をさくような爆音、肌が焼けるほどの熱。

皮膚が垂れ下がり、血だらけとなって川面に浮かぶ死体。

子どもの名前を呼び、「目を開けて。目を開けて。」と、叫び続ける母親。

たった一発の爆弾により、一瞬にして広島のみちは破壊され、悲しみに埋め尽くされました。

「なぜ、自分は生き残ったのか。」

仲間を失った私の曾祖父は、そう言って自分を責めました。

原子爆弾は、生き延びた人々にも心に深い傷を負わせ、

生きていくことへの苦しみを与え続けたのです。

あれから78年経ちました。

今の広島は緑豊かで笑顔あふれるまちとなりました。

「生き残ってくれてありがとう。」

命をつないでくれたからこそ、今、私たちは生きています。

私たちにもできることがあります。

自分の思いを伝える前に、相手の気持ちを考えること。

友だちのよいところを見つけること。

みんなの笑顔のために自分の力を使うこと。

今、平和への思いを一つにするときです。

被爆者の思いを自分事として受け止め、自分の言葉で伝えていきます。

身近にある平和をつないでいくために、一人一人が行動していきます。

令和5年(2023年)8月6日

こども代表 広島市立牛田小学校 6年 勝岡 英玲奈

広島市立五日市東小学校 6年 米廣 朋留

## 平和学習を行いました!(1学期末)

7月は「全市一斉の平和に関する学習指導月間」となっており、中島小学校でも、毎年7月に、平和学習に取り組んでいます。「沖縄慰霊の日」「広島・長崎の原爆の日」「終戦の日」と続く夏のこの時期、各担任が教材を選び、学年の発達段階に応じた平和に関する学習を行っています。

組	学習した内容
1年1組	★「トビウオのぼうやはびょうきです」(DVD) ○アメリカによる水爆実験で死の灰を浴び、たくさんの人が被爆しました。その影響でトビウオのぼうやは不治の病にかかってしまいます。ぼうやの気持ちを考え、手紙を書く活動を通して平和について考えました。
2年1組	★「おきなわ島のこえ」(絵本) ★「おこりじぞう」(DVD) ○沖縄戦では、沖縄の人たちの3人に1人が命を失いました。そしてお地蔵さんさえ怒らせた広島原爆・・・戦争や原爆の恐ろしさ悲惨さを知り、平和についての考えを深めました。
3年1組	★「さようならカバくん」(絵本) ○戦争中、水やエサを与えられずに息を引き取った上野動物園のカバの思いを考えました。最後に、カバくんに向け、これからの自分の気持ちを手紙に書きました。
4年1組	★「一つの花」(DVD) ○国語の授業で学習した「一つの花」の平和学習教材版を視聴することを通して、戦争時の社会状況や人々の暮らしについてより詳しく知ることができました。戦争の悲惨さや平和の大切さについて、改めて考えました。
5年1組	★「いわたくんちのおばあちゃん」(DVD) ○いわたくんの「おばあちゃん」は、なぜ写真を撮られるのが嫌いなんだろう・・・『戦争なんてずっとむかしの話』なんて思わないでほしい・・・戦争を二度と起こさないために、自分たちが今できることを考えました。
6年1組	★「おかあさんの木」(DVD) ○7人の息子たちを次々に戦地に送り出し、そのたびに桐の苗木を1本ずつ植え、話しかけてきた母。たった一人生き残った息子が帰ってきたとき、母は・・・自分たちの暮らしと重ね合わせ、平和について考えました。
ふじ組 すずかけ組	★「おこりじぞう」(絵本) ○いつもにこやかに笑っていたお地蔵さんが、原爆投下による悲惨な状況を目の当たりにし、徐々に顔を怒らせていく・・・二度と戦争を起こさないためにはどうすればいいのか、今自分たちにできることは何かを考えました。

